



Tokyo University of the Arts, Graduate School of FILM AND NEW
MEDIA, FILM PRODUCTION

The 13th Graduate Works Exhibition

東京藝術大学大学院 映像研究科映画専攻 第13期修了制作展

東京藝術大学大学院映像研究科と横浜市文化観光局は、連携・協力して文化芸術創造都市づくりを推進し、その一環として地域貢献事業に取り組んでいます。このたび、東京藝術大学大学院映像研究科による映画専攻13期生修了制作展を横浜・馬車道にて開催します。また3月にはユーロスペース（渋谷）でも同修了制作展を開催します。

「歴史は終わった」「物語などもない」などと吹かれた時があった。しかし、何も終わりはしないではないか。相変わらず私たちは生きている。世界は暗く閉ざされ、あるいはバラバラに解体し、どこにも居場所を見つけられないとしても、女たちは(何故か女たち)力強く、毅然と、あるいは軽やかに行動し「何気ない日常」とは遠く離れて、失われたはずの物語を紡ぎ出してゆく。彼女たちは死に触れることさえ厭わず、愛し、踊り、殺し、生きる。映画は終わらない。いや再び始まる。そう宣言するかのようこの3本の映画は正しく孤独であり、感動的に時代錯誤である。彼らの見つけたその危うい場所で、映画はまだ輝きを放ち続けていくだろう **— 観客映画**

三人の若い作家たちは、みな何となく青春映画ではない映画を撮ろうとしたようだ。映画が青春に陥るのをざりざりで回避している、と言ってもいいかもしれない。犯罪映画の骨格を導入する者、暴力と愛に正面から挑む者、ある者は大胆にも不倫によって崩壊する夫婦という難題を選択し、またある者はごく当然のように物語そのものへの言及を志向し始める。彼ら彼女らは、本人たちがそうであるはずの“何でもありの自由な若者”から背を向け、そうではなくて、既に社会的な安定と硬直を備えてしまった大人たちが、その人生の轡車を狂わせていくさまにあえてカメラを向ける。つまり、目指されているのはなりふり構わぬ“成熟”なのだ。私が若かった頃には思いもつかない、凄いいことだと思う。それもまた若者ゆえの特権のひとつなのだろうか **— 観客映画**

神様のいるところ

2019 / 60分 / 16:9 / 5.1ch



台湾人の母と二人暮らしをしている玲(14)。母親からの暴力に耐えかねた玲は家を飛び出し、葵(27)と出会う。葵の家に泊めもらった翌日の夜、突然家に侵入してきた葵の上司丸山を玲が殺してしまう。逃亡する二人は導かれるように田舎町の旅館「山城屋」へたどり着く。消えていく慈、消えない傷、玲の中でゆらゆらと大きくなっていく心。

・出演者
出演：荒川ひなた 瀬戸かほ 岡本智礼 劉又甄 佐藤岳人
・スタッフ
監督・脚本：鈴木冨 / プロデューサー：徳永理仁 ムン・ヘソン / 撮影・照明：泉崇 / サウンドデザイン：萩原みさき / 美術：中村哲太郎 / 編集：斉藤辰 / 音楽：金光佑美

死んだ猫の縄張り

2019 / 65分 / 16:9 / 5.1ch / カラー / DCP



「できない」ができない
広告代理店に勤務するみなも(24)は、今日も上司に仕事を任せられる。受け取ったのは、東京オリンピックのボランティア確保のためPR強化を命じた指示書。うなだれたみなもは会社からの帰り道、ある若者たちの会話を耳にする。気になって彼らの後を追ひ、足を踏み入れたのは、路地裏の謎のお店『地底』だった。若者たちに意見を聞こうとするものの、会話がどうも噛み合わない。「もっとこういう感じ、ほしすよね」ひとりが指をばちんと鳴らすと、世界は“死んだ猫の縄張り”のもとで共鳴し始めた…。

・出演者
出演：日向子 さいとうなり フジエタクマ 山崎陽平 村田奈津樹 譚訪敦彦
・スタッフ
監督・脚本：平林祿 / プロデューサー：中島すみれ 楊潔 / 撮影監督：劉亮輝 / 美術：陳躍 關樂 蔡翔 / サウンドデザイン：宋靈妍 / 助監督：福地理子 / 音楽：大橋仁人

夜のそと

2019 / 90分 / 16:9 / ステレオ



地方の小さな町にそと子という女が住んでいる。彼女は旦那の歌にも縛られ、町の男を対象にした風俗営業を強制させられていた。ある夜、夫から逃れて森を彷徨っていると、幹郎に出会う。彼は都会からやってきたよ者だった。彼はそと子と旦那に暴力を振るわれている事に気づき、気にかける。幹郎は、「自分ならなんとかできる」と言うが、そと子は意に介さず、男を遠ざける。しかし、男の勇気にも何かたならぬものを感じていた。ある日、そと子の客のひとりである石川が殺される。犯人が捜索されている中、そと子は幹郎を疑うが…。

・出演者
出演：田中佐季 山岸健太 磯部泰宏 河野宏明 小西悠加 福永朱梨 小綿照雄 木村知貴
・スタッフ
監督・脚本：中川奈月 / プロデューサー：大塚安希 山崎智広 / 撮影監督：周詒笑 / サウンドデザイン：AYITIKEN YAERMAIMAITI / 音楽：大崎格 / 美術：北地那奈 / 衣装：北地那奈 野村実央 / 編集：康凱洋

馬車道校舎上映

会期：2019年1月26日(土)～1月27日(日)

東京藝術大学 横浜校地 馬車道校舎

神奈川横浜市中区本町4-44 みなとみらい線「馬車道」駅5.7出口すぐ

主催：東京藝術大学大学院映像研究科 横浜市文化観光局

入場無料

1月26日(土)
12:30 開場
13:00-14:30 『神様のいるところ』
14:40-16:10 『死んだ猫の縄張り』
16:20-18:20 『夜のそと』

1月27日(日)
12:30 開場
13:00-15:00 『夜のそと』
15:10-16:40 『死んだ猫の縄張り』
16:50-18:20 『神様のいるところ』
(各回監督挨拶を行います。)

会場HP: <http://fm.geidai.ac.jp/access/>
お問合せ: opengeidai@gmail.com
Instagram: @tua_films



渋谷・ユーロスペース上映

会期：2019年3月16日(土)～3月22日(金)

ユーロスペース(渋谷)

東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F 渋谷・文化村交差点左折

主催：東京藝術大学大学院映像研究科

前売券：700円(1日券)

当日券：900円(1日券)

ファミリーパス券：1,500円(会期中何度でも入場可能)

連日21時上映スタート

3月16日(土) 『神様のいるところ』
3月17日(日) 『死んだ猫の縄張り』
3月18日(月) 『夜のそと』
3月19日(火) 『死んだ猫の縄張り』
3月20日(水) 『夜のそと』
3月21日(木) 『神様のいるところ』
3月22日(金) 『死んだ猫の縄張り』

会場HP: <http://www.eurospace.co.jp>
お問合せ: 03 3461 0211

